

■ 概要 :

(TrustedData連携からスマートシティWGへの変更)

スマートシティは、「IoT (Internet of Things : モノのインターネット) の先端技術を用いて、基礎インフラと生活インフラ・サービスを効率的に管理・運営し、環境に配慮しながら、人々の生活の質を高め、継続的な経済発展を目的とした新しい都市」であり、社会基盤になるIoTや個人データなどサービスを行う為に色々なデータを活用しながらサービスの構築がなされます。

スマートシティWGでは、安心・安全な街づくりに貢献すべく、以下ガイドラインの作成するものとします。

- ・産業別データ連携基盤の利用ガイドライン
- ・スマートシティのデータ層 (サイバー層) におけるリスクアセスメントガイドライン

■ 活動内容 :

- 1) スマートシティサービスにおける情報の共有
- 2) 産業別データ連携基盤の整理及び利用ガイドラインの作成 (可能であれば、運用ガイドライン)
- 3) スマートシティにおけるリスクアセスメントガイドラインの作成

■ 本年度ゴール :

ガイドラインの方針の構築。翌年度からガイドラインを作成する検証期間

■ 参加者 :

- ・主査 : 江川 将偉 (CCDS/OZ1) 、副査 : 検討中
- ・メンバー : 三井住友海上、損保ジャパン、セイコーソリューションズ、帝国データバンク、電通国際、トレンドマイクロ、Trustdock、日立グループ (日立キャピタル) 、関電グループ (オプテージ) 、NECネットエスアイ、凸版印刷、両備システムズ、コムソル、フューチャーアクセス、千葉銀行、りそな銀行、大阪府、横浜市、市原市、市川市、エストニア大使館 (エンタープライズオブエストニア) など
- ・メンバー募集の有無 : 募集あり